

美瑛の農業2022（令和4年）

1 地勢と気象

美瑛町の地勢は、おおむね波状丘陵で、その丘陵をぬって美瑛川、置杵牛川、宇莫別川、辺別川ほか数条の河川が流れ、その流域が水田となっている。丘陵部には畑が広がり、東部には大雪山系が控えているため、独特の景観を呈している。

気象は寒暖の差が激しい内陸性の気候で、令和3年の農耕期（5～9月）の積算温度は2,589℃、降水量は344mmである。

2 耕地面積

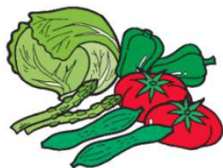
令和3年の耕地面積は、12,600haであり、田2,200ha、普通畑10,400haとなっている。

耕地面積は、町の総土地面積67,678haの約2割を占めている。農地のうち約4割が、中山間直接支払制度の対象農地であり、傾斜地で構成される多くの農地は、農作業の効率化を阻んでいる。

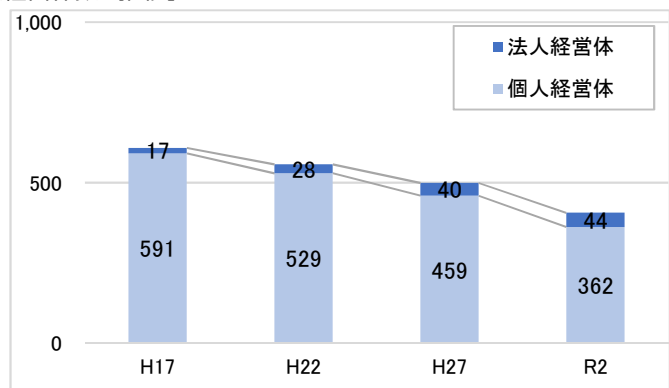
3 農業経営体数

昭和30年に2,419経営体だった農業経営体数は昭和60年には1,059経営体となった。その後も減少が続き、平成17年には608経営体、令和2年には406経営体となっている。なお、法人経営体は増加しており、令和2年で44経営体となっている。

新規就農について、令和3年の新規就農者数は3名であった。美瑛町では、美瑛町農業担い手研修センターにて町内での新規就農を目指す方々を対象に2年間トマト栽培の実践研修を行っている。また、農福連携に取り組み、農業の担い手不足の解消を図るとともに、障がい者等が社会参画しやすい環境づくりを目指している。



【農業経営体数の推移】



資料：「農林業センサス」「北海道農業基本調査」

【新規就農者数の推移】

(単位：人)

	H30	R1	R2	R3
新規就農者数	5	0	3	3

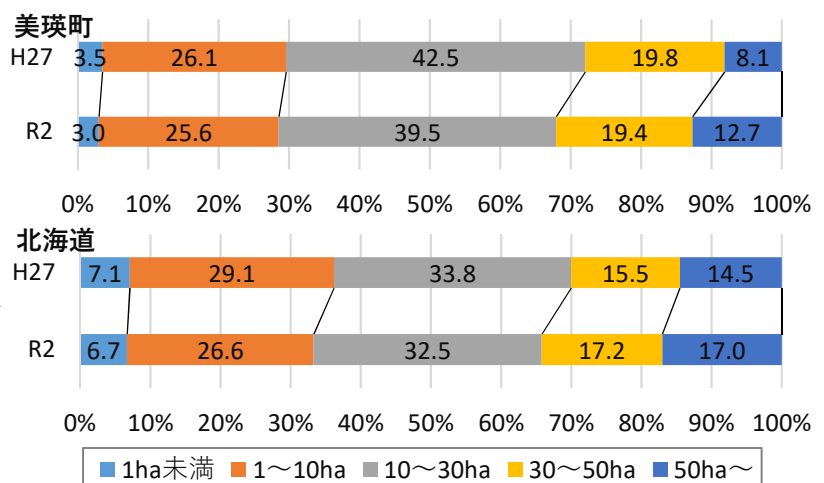
資料：美瑛町調べ

4 経営規模

美瑛町の令和2年の1戸あたりの平均経営耕地面積は31.3haで、全道平均の33.6haより小さい。特に10～30haの階層が占める割合は39.5%と、中規模農家が多いことがわかる。

平成27年と比べると農家戸数は減少している一方で、大規模経営の農家の割合は増える傾向にあり、離農等に伴う農地の集積が進んでいる状況にある。

【美瑛町・北海道における経営規模別農家戸数割合の比較】



資料：農林水産省「2015農林業センサス」「2020農林業センサス」

5 経営形態

令和2年の経営形態別農家戸数は、複合経営が最も多く146戸（36.0%）、続いて単一経営が152戸（37.4%）、準単一複合経営が108戸（26.6%）となっている。

稲作や施設野菜を中心とした経営体以外の畑作中心の経営体については、毎年多くの種類の作付けを行い、輪作を行なっている傾向が高い。

【経営形態別農家戸数】

（単位：戸）

	販売農家 戸数	複合経営	準単一 複合経営	単一経営
美瑛町	406	146	108	152
北海道	33,541	7,571	6,828	19,142

※複合経営：主位部門の農産物販売金額が60%未満の経営体
準単一複合経営：主位部門の農産物販売金額が60%以上80%未満の経営体
単一経営：主位部門の農産物販売金額が80%以上の経営体

	単一経営の内訳													
	稲作	麦類作	雑穀・ イモ類・ 豆類作	工芸 農作物	露地 野菜	施設 野菜	果樹類	その他 の作物	花き 花木	酪農	肉牛	養豚	養鶏	その他 の畜産
美瑛町	29	13	13	2	13	40	1	5	0	27	3	4	1	1
北海道	5,109	385	1,319	89	1,977	1,648	549	707	380	4,936	1,131	123	82	707

資料：「2020農林業センサス」

6 農業生産

令和3年の作付面積は、小麦が約3,328haと最も多く、次いで飼料用作物、てん菜、水稻、大豆、馬鈴薯の順となっている。美瑛町では、小麦、てん菜、豆類、馬鈴薯等を主体とした輪作体系の確立を目指しており、同じほ場でも毎年異なった作物が育てられ、見た目の色合いも様々であることから、美瑛独特の『パッチワーク』と表現される丘の景観を作り出している。

令和3年の生産額は、記録的な高温や少雨による干ばつの影響を受けて馬鈴薯、玉ねぎ、小豆をはじめ多くの作物の生産量が減少したことにより、昨年度を下回る約116億円となった。

作物	令和3年			令和2年		
	面積	生産量	生産額	面積	生産量	生産額
	(ha)	(俵・t・頭)	(千円)	(ha)	(俵・t・頭)	(千円)
水稻	887.0ha	92,248俵	907,351	916.0ha	91,600俵	1,143,992
小麦	3,327.8ha	309,136俵	883,585	3,236.0ha	280,385俵	759,092
大豆	705.0ha	28,653俵	339,145	604.0ha	25,069俵	285,215
その他豆類	208.0ha	6,044俵	107,316	359.0ha	14,706俵	269,010
てん菜	1,081.0ha	70,338 t	700,848	1,072.0ha	78,720 t	750,756
馬鈴薯	700.8ha	19,481 t	766,531	762.0ha	27,500 t	1,110,220
スイートコーン	371.9ha	3,407 t	165,820	369.5ha	4,106 t	188,125
かぼちゃ	123.5ha	1,553 t	105,342	128.0ha	1,614 t	107,658
トマト	43.0ha	5,180 t	1,434,860	44.0ha	5,557 t	1,797,000
アスパラガス	116.2ha	235 t	253,330	121.2ha	292 t	262,800
たまねぎ	141.6ha	4,956 t	446,040	159.3ha	7,965 t	597,375
ブロッコリー	70.5ha	450 t	171,000	56.3ha	478 t	176,860
いんげん	29.0ha	110 t	18,282	30.5ha	247 t	41,281
飼料用作物	2,462.0ha	-	-	2,430.0ha	-	-
その他	1,332.7ha	-	372,645	1,312.2ha	-	405,954
耕種計	11,600ha	-	6,672,095	11,600ha	-	7,895,338
肉畜	-	23,922頭	1,792,015	-	23,724頭	1,716,324
生乳	-	32,593 t	3,122,700	-	32,872 t	3,208,797
畜産計	-	-	4,914,715	-	-	4,925,121
合計	-	-	11,586,810	-	-	12,820,459

資料：R2・R3区域内農業生産実績（JA調べ）

（2022.4改訂）